

令和2年度 香川県藤井高等学校自己評価結果

評価項目	No	具体的方策
教科指導・学習指導	1	生徒の興味関心を深めるとともに、理解を深めるための工夫・改善を図り、生徒自身の授業に対する意欲を引き出す。
	2	理解不足・低学力の生徒等に課外や補習などできめ細かい指導をする。
	3	個人の能力に応じ進路に向け添削指導を行う。
	4	不合格者の減少を目指し、成績不振者に対する指導をする。
	5	生徒を授業に引きつける、生徒の学力・能力を伸ばすため、授業に向けての教材研究をする。
	6	授業時間を有効かつ効果的に活用するとともに生徒に時間や規律を大切にすることを意識を高揚させ、教職員がチャイムと同時に授業展開できるようにする。
	7	授業の最初に服装をきちんとさせ、教材を出させる。授業の開始と終わりの挨拶をできるようにする。
	8	学習に不必要なもの(携帯等)指導して没収し担任に渡す。授業をきちんと受けさせる。
特別活動	9	部活動加入の奨励、生徒に積極的に呼びかける。
	10	部活動の活性化に向けて、放課後はできる限り部活動の指導にあたる。
	11	望ましい人間関係を形成し、諸問題を解決しようとする自主的態度を育てる。
	12	望ましい人間関係を形成し、学校・学級の一員として、集団生活の充実・向上を図る。
	13	集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、自主的に協力できるようにする。
生徒指導	14	退学者を出さないよう、生徒を学校に引きつける指導を心がける。
	15	挨拶や人間として集団生活を送る場合のマナーについて、いろいろな場面において、実行できるようにする。
	16	服装頭髪において、きめ細かい指導を行い自らきちんとできるよう授業・HRでの継続的な指導を実施する。
	17	欠席・遅刻状況を把握し、なくするための指導を生徒と向き合って諦めずに行う。
	18	校外で生徒の服装違反や生徒指導上の問題を見逃さず、声をかけて指導する。
	19	問題のある生徒に対しては、放課後などに面接を行い指導する。
	20	問題生徒の早期発見と支援を行う。
	21	生徒、保護者、家庭との信頼関係を築く。
その他	22	清掃指導の徹底。教室の整理・整頓や雰囲気作りを行う。
	23	HRや学年集会を通して、自ら豊かな人間関係が作れるよう指導する。
	24	授業・HR・総合学習・課題研究などにおいて進路に対する意識づけをする。
	25	欠席時の確認・学校生活の状況等、家庭との連絡を密にする。
	26	自分の目標達成に対して

